



会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



名 月

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商 工 会 議 所 内
電 話 0235 (2) 5 7 7 5

会 長 鈴 木 善 作
幹 事 高 橋 辰 美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 774 号 1974. 10. 8 (火) (曇) No.15

会報はご家族みんなで読ましましょう

◆出席報告

本日の出席

会 員 数	68名
出 席 数	47名
出 席 率	69.12%

前回の出席

前 回 出 席 率	72.06%
修 正 出 席 数	62名
確 定 出 席 率	91.18%

欠 席 者

阿宗君、半田君、石黒君、五十嵐(三)君
五十嵐(伊)君、進藤君、高橋(良)君、佐藤
(衛)君、小池君、中野(重)君、三浦君、
笹原君、中江君、齋藤(得)君、齋藤(信)君
佐藤(伊)君、佐藤(忠)君、谷口君、佐々
木君、津田君、藪田君

マークアップ

五十嵐(伊)君—仙台西R・C
佐藤(忠)君—酒田R・C
安藤君、早坂(源)君、山本(隆)君、板垣君
山本(正)君、吉野君、嶺岸君、菅君、中野
(清)君、佐藤(正)君、富樫君—鶴岡西R・C

◆ビジター

村上七五三夫君、伊藤三男弥君
—酒田東R・C
帯谷義雄君、菅原年雄君、松田善三郎君
羽根田正吉君—鶴岡西R・C

◆点 鐘 12:30 鈴木会長

◆ロータリーソング

◆ビジター紹介 S・A・A

◆本日のゲスト紹介並びに歓迎のことは

会 長

◆会員スピーチ（黒谷会員）

◆会長報告

◆幹事報告

◆各委員会報告

◆会員スピーチ 黒谷 会員

昨日（10月7日）林式ダウは3,605円になりました。最高が48.1月の5,359円、6月の4,787円ですから 暴落の程が知れます。そして今の所下落を止める要因は一つとして見つからない状況であります。それほど日本経済は経済恐慌の前夜に直面して居るように思われます。

ごく最近有名な齋藤栄三郎博士が鶴岡で講演せられ、その際来年の5、6月頃には景気が立直るとか、金融緩和があるとか申されたそうですが、凡ゆる状件を分析してもそのような条件は一つもありません。

この経済不況の第一の原因はインフレーションですが、更にその原因として昨年以來の石油ショックが上げられて居ります。

西独では約2、3年前から需要抑制政策の手が打たれて来た為、インフレーションが余りひどくありませんが、日本は田中内閣の経済失政により打つ手が遅れ、世界一の物価高騰になってしまいました。

最近迄日本経済ではインフレーションは経済発展の要因でしたが、現在では世界経済との密接な繋がりが出来、以前のように孤立した経済と違いますのでインフレーションは経済不況の原因になって了ったのです。

従って只でも打つ手が遅れた政府が今更金融を緩和して更にインフレーションを促進させるような政策はとれない状況なのです。従って不況の波は今後ますます荒さを増して来る事は確実で、今後4、5年はこのままの状況が悪化して行くものと考えられます。

9月の倒産件数は900件に増大し、10月、11月には相当の企業の倒産が予想されます。失業も始まって居ります。労働省は「来年1～3月期の完全失業者数は通常より2、30万人多い90万人にのぼるだろう」との見通しを明らかにして居りますが、御役人の見通しですからまだまだ甘い見通しであります。

兎角これから12月迄の間に倒産防止の為の資金需要が増し、先ず第1回のクレジットクランチ、即金融の超逼迫が生じる事は明らかであり、資金不足の為大型企業の倒産さえ予想されて居ります。

最も固いとされて居る都市銀行でさえ経営の悪化が進み、更に大型合併がうわさされて居ります。例えば、第一銀行と勸業銀行の第一勧銀、神戸銀行と太陽銀行の神戸太陽のような大型銀行同志の合併であります。

更にヨーロッパに目を転じますと、イタリア、イギリス、フランス等の経済は全く危機に直面し、イタリアが西独から金を借りてなんとか保って居るように最早自由主義国の経済は崩壊寸前であり、現在では一国の経済の崩壊は企業と同じように他国に連鎖反応を起こすようになって居ります。

アメリカはその為重大な決心をしてインフレの直接原因である石油の値下げの為には戦

争と麦を武器に取上げました。これは大変な事でまかり間違えると第3次世界大戦に発展しないという保障はなにもないのです。アメリカがこの様な重大な危険を犯してもこの様な重大な決心して居る程世界経済は崩壊の危険にさらされて居るのです。

これ迄の話で世界と日本経済が今現在直面して居る危険度がお判り戴けたと存じますがさらば我々はどうなるかであります。

中央の不況、特に東京から大阪にかけての太平洋岸の不況は、鶴岡の皆さんには想像も出来ない悪い状態にあります。

幸いに鶴岡は米作地帯であり、この秋の米の収穫は上り、政府買入れ価格が3割も上ったので全くの好状件にあります。併し製造業の方々、特に中央の経済と繋りの深い企業はよほどふんどしをしめなければ、幸いまだ我々が経験した事がない長期の不況に耐える事はできないでしょう。

私は今日の事を約2年前から予想し77年11月頃には御得意様で株を所有して居る方は手放すよう指導申し上げ、設備投資などやりして資金の苦しい所は、安定した資金繰りを樹て、先ず先ず私の関与先は4、5年心配ないようです。特にこれからの当地の企業の中で中央の下請工場は要警戒です。中央の大企業でさえも危険なのです。どうぞ下請企業への販売は特に気を付けて下さい。この様に金が貴重な時代に貸倒を生ずる事は自分の企業をも危険に陥入れます。

それから第2が資金の余裕を作る事です。不要な不動産は早く処分する事です。安くと

も更に安くなる事が予想されます。中央では不動産を処分して資金を得る事が困難になって居ります。

今迄暗い話ばかり申し上げましたが私自身は今申し上げたより、もっともっと重大に考えて居りますが、商人にとってはこれが又とない儲の千載一遇のチャンスでもあるのですが、この不況に儲けるのが真の手腕というものです。今迄は馬鹿でも貰けた時代です。むしろあの馬鹿がという者が貰けたものです。しかしこれからは腕です。

どうぞ此の千載一遇のチャンスをものにして皆さんの中から儲かりましたというお話を聞きたいものです。

私の関与先の一部は着々儲けて居ります。皆さんもどうぞこの機チャンスを有効に使われますよう。

◆ロータリー情報委員会

張紹淵君、山本隆男君、津田晋介君

主 題

◎ロータリー・クラブは存続し得ない。

◎ロータリー財団およびその奨学金プログラム。

◎社会奉仕委員会の任務、担当計画。

◎ロータリー・クラブは存続し得ない

ロータリークラブは、その会員の各種の職業の業務活動を必要とし、かつ、それを利用する地元地域社会の人々から、離れて存続することはできません。従って、クラブの主要目標の一つは、会員が互いに親睦を通じて利益を得ることにあるとは言え、クラブはまた

その地域社会に利益をもたらすことにも努めなければなりません。競争とか重複ではなく協力というロータリーの方針は、常にわれわれの念頭におくと同時にあらゆる活動において実証されるべきであります。(カナダのレベルストークのロータリアンより)

スピーチ等には要旨で結構ですので、原穂を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。

◎ロータリー財団およびその奨学金プログラム

ロータリー財団の活動には、次の給費活動プログラムがあります。それは、①大学院課程奨学金、②大学課程奨学金、③専門的訓練のための補助金、④教師奨学金、⑤研究グループ交換、⑥特別補助金です。その夫々の説明は38—J ロータリー入門P28～ 参考するとよいかと思ます。

◎社会奉仕委員会の任務、担当計画

ロータリアンが個人として、或は他人と共になす行為で、自分の周辺に住む人々に対する思い遣りと手助けとを体現するといったような行為をすることあります。何故社会奉仕活動をやるか、その第一の目的は、宣伝が目的ではありませんが、斯様な奉仕事業は望ましいロータリー広報の機会を作るからです。今年のクラブ社会奉仕委員会の計画、実行は1.地域住民と密着した全員の活動奉仕の参加実行。2.インターアクト、ローターアクトクラブの資金援助。3.高館山の自然林、休養場所に樹木、野草に標示札を実行する。4.チャリティショウを開催し、資金の恵ぐまれない方々にまわす。5.インターアクトクラブの海外派遣費の援助。6.善行の市民表彰。を実施中であります。